

鉛筆とゼロックスによる小さな語彙調査

著者	林 四郎
雑誌名	ことばの研究
巻	4
ページ	64-78
発行年	1973-12
シリーズ	国立国語研究所論集 ; 4
URL	http://doi.org/10.15084/00001762

鉛筆とゼロックスによる小さな語彙調査

林 四 郎

国語研究所では、コンピュータは、昭和41年から備えているが、日常事務機の高級品は案外入れにくく、昭和47年になって、初めてゼロックスが使えるようになった。商品広告の代弁をするつもりはさらさらないが、使ってみると、ゼロックスは大変いい機械である。それも、単に事務機械として便利だということだけなら、改めて書くまでのことはないが、言語の調査研究に非常に役立つことに気づいたので、一つの小さな語彙調査の報告の形で、書いてみる気になった。

語彙調査や索引作りは手間のかかる仕事で、個人の力では、なかなかできないものである。それで国語研究所は、集団の力で、これまで何度も語彙調査を行ってきた。語彙調査がカードと人の作業からコンピュータの仕事に移っても、それが集団の仕事であることには変りがない。コンピュータによって、語彙調査は処理量が多くなり、十万のオーダーから百万のオーダーになった。コンピュータによる語彙調査の大量性は今後一層強化されるだろうが、語彙調査も、ただ量がふえるばかりではおもしろくない。調査結果をどんな形にしてアウトプットするか、その方法について、いろいろな摸索を試みる必要がある。そういう実験として、机上の小調査を絶えず試みる必要がある。ゼロックスを利用して、その一つの試みをした。

ゼロックスは、ただのコピー機械にすぎないけれども、これによると、鉛筆で書いた原稿が、原稿の字よりも黒く鮮明にコピーされる。鉛筆の字は消しやすいから、鉛筆書きのマスターファイルは、部分修正が簡単にできる利点がある。また、カード作業と併用していくと、いろいろな排列原理によるレコードが、各段階でコピーを残していけるので、作業がしやすい。これは、コンピュータの記憶装置の中でのデータ転送と状況が似ている。カード作業は、並べかえが自由で、どこをも随意に見られる長所をもっているが、並べかえると、も

との記録がなくなってしまう。コンピュータの内部でデータを移動した時には、もとの場所にも記録は残っている。この状況を、コピー機械は、簡単に作り出すことができる。そして、ゼロックスの用紙は乾式だから、湿式のものとは違って、リプリント・テキストに、鉛筆でも何でも書き加えが容易なので、書き加えた結果を、またコピーすることができる。

こういうゼロックスの長所を利用すると、小さなテキストについてなら、個人の力で語彙調査ができるし、途中でいろいろに細工を加えつつ、普通の語彙表とは違った形のアウトプットを試みることができる。その一例を以下に記す。

調査対象としたのは、岩波文庫『寺田寅彦随筆集』第一巻所収のエッセイ「糞虫と蜘蛛」で、この文庫本で6ページの小品である。(表記は、すでに現代表記になっている)

I. けい紙に、原文を横がきで1文節ごとに改行して書く。助詞・助動詞は小文字で書く。各文節の右肩に、段落と段落内の文番号とを「1—1」「1—2」のように添えておく。これをAテキストとする。第1図に、その一部を示す。

第1図 Aテキストの一部

二階の	1-1	たくさんな	1-2	はい出して、	2-2	坊主に	2-3
縁側の	1-1	糞虫が	1-2	小枝の	2-2	して	2-3
ガラス戸の	1-1	ぶら下がって	1-2	先の	2-2	しまうまでは	2-3
すぐ	1-1	いる。	1-2	青葉を	2-2	満されなかった。	2-3
前に	1-1	去年の	2-1	たぐり寄せては	2-2	紅葉が	2-4
大きな	1-1	夏じゅうは	2-1	食って	2-2	美しく	2-4
楓が	1-1	この	2-1	いた。	2-2	なる	2-4
空	1-1	虫が	2-1	からだの	2-3	ころには、	2-4
いっばいに	1-1	盛んに	2-1	わりに	2-3	もう	2-4
枝を	1-1	活動して	2-1	旺盛な	2-3	活動は	2-4
広げて	1-1	いた。	2-1	彼らの	2-3	しなかったようで	2-4
いる。	1-1	いつも	2-2	食欲は	2-3	ある。	2-4
その	1-2	午ごろに	2-2	多数の	2-3	(以下略)	
枝に	1-2	なると	2-2	小枝を	2-3		

このように書くと、横がきの縦がきともいうべきテキストができ、各文が何個の文節から成り立つかが一目瞭然となるし、文節間の構造を図解するのも、場所をとらないで便利である。

II. Aテキストの作業用コピーについて、各文節を切断し、小型カードにはりつける。カードは、中学生が英単語の暗記用に使うような小さなものがよい。カードの枚数が総文節数であり、すなわち、この文章に含まれる自立語の延べ語数である。「糞虫と蜘蛛」の延べ語数は1161である。

カードを五十音順に排列する。これで、同語が一か所に集まる。用言の各活用形は同語として集める。五十音順語彙表の一部を第2図に示す。

第2図 五十音順語彙表

<あ>			
間	6	に 8-2, に 9-2 に17-5, に19-7 に20-2, に20-3	あまり 1 →ない 7-10
青葉	2	を 2-2, の17-1	あまりに 2 17-3, 19- 2
赤み	1	が 6-2	あらかた 1 10-1
時るい	1	3-2	あらゆる 2 6-2, 21- 4
空きがら	1	を12-6	蟻 1 で21-1
空罐	2	へ 9-4, 10-3	ある(で) 28 。 2-4, た。 4-1
あさはか	1	な19-2	た。 7-2, た。 7-3
あさる	1	て10-1	。 7-4, 。 7-6
足	2	を12-5, は17-2	た。 7-7, た。 8-2
頭	1	の12-5, に15-1	。 8-4, たが 9-4
孔	1	が14-2	が 11-2, ので12-3
あの	3	7-3, 15-3 15-4	た, 12-4, が 14-4
			た。14-4, う。16-3
			。 17-2, 。 18-2
			(以下略)

これは、文節の形を表示した用語索引である。例えば、「である」の「ある」は、「ある(で)28 。2-4, た。4-1, ……」となっている。これは、この語の総度数が28であり、第2段落第4文末で「ある。」と使われ、第4段落第1文では、同じく文末で「あった。」と使われている、ということを示している。表示は、原則として文節の範囲内とするが、場合によっては、文節の範囲を越えて表示することも、自由である。例えば、「あまり」の項には、「→ない7-10」と記してある。これは、第7段落第10文に「……あまり容易ではなかった。」と使われていることを簡単に示したのである。

III. 五十音順語彙表の作業用コピーを切り張りして、度数順語彙表を作る。切り張りの時、度数1から2, 3ぐらいまでを優先して取り出しつつ張って行く。度数1の語が圧倒的に多くて、それらが連続して並んでいることが多いから、

それぞれの中で五十音順排列が生きる関係で、切り張りの手間は、五十音順を作る時よりはずっと少ない。こうしてできた度数順語彙表の中から、3語の分を取り出して第3図に示す。

第3図 度数順語彙表からの抄

袋虫	17	が	1-2, の	2-5	の	11-1, が	12-4			
		が	3-1, を	6-4		を	12-2, は	12-4		
		を	7-8, の	13-3		の	12-5, の	13-2		
		の	15-2, の	16-1		の	14-1, は	17-2		
		の	16-3, の	17-2		の	18-1			
		が	19-1, を	19-2		蜘蛛	13	が	14-3, の	18-1
		には	19-4, の	20-1				が	18-2, が	19-1
		のような	20-1, や	21-4				にも,	19-4, の	18-5
		と	22-3					を	19-5, の	19-6
		虫	15	が				2-1, の	5-1	が
のに	5-2, の			8-1	の			21-4, が	22-2	
の	8-2, に			9-4	の			22-3		

度数順語彙表の上位何語かについて、次のような変形処理を施しておく、文章論的考察を加えるために便利なものになる。空間をたっぷり取って、各語の段落別出現状況が一目で見られるようにしたものである。第3図に示した「袋虫」「虫」「蜘蛛」3語の分を第4図に示す。

第4図 高頻度語の段落別出現状況

段落(文数)	袋 虫		虫		蜘 蛛	
	17		15		13	
1 (2)	が	2				
2 (5)	の	5	が	1		
3 (3)	が	1				
4 (2)						
5 (2)			の	1	の	2
6 (4)	を	4				
7 (10)	を	8				
8 (4)			の	1	の	2
9 (5)			に	4		
10 (4)						
11 (3)			の	1		
12 (6)			が	1	を	2
13 (3)	の	3			は	4
14 (4)			の	2	の	5
			の	1		
					が	3

15 (6)	の2	の3	
16 (3)	の1 の3		
17 (6)	の2		
18 (3)		の1	の1 2
19 (7)	が1 を2 には4		が1 にも, 4 を5 の5 の6
20 (3)	の1 のような1		が, 1 の1
21 (4)	や4		の4
22 (3)	と3		が2 の3
23 (2)			

この一覧表は、作品の中での主要トピックの推移や叙述様式の展開を手っ取り早く察知するのに便利である。この作品は題名に「糞虫と蜘蛛」とある通り、糞虫と蜘蛛とが主要話題であること、糞虫は初めから終わりまで文面に出ているが、蜘蛛は第14段落から登場して、第18段落以後主要話題の主となり、特に第19段落での主人公であること、「糞虫」という語と「虫」という語とは、出現状況から見て相補関係にあるから、この「虫」は糞虫を代行していると思われ、両語の間に、何か意味の分担関係があるかも知れないこと、などが見取られる。

IV. 度数順語彙表の作業用コピーを用い、度数2以上の各語に、出現順の番号をつける作業をする。例えば、度数5の「行く」だと、次のようになる。

行く 5 1 2 3 4 5
 2-5, た。8-1, た。12-2, 14-3, 。19-6

文番号の上に記した番号が、その語の出現順位を示す。

V. Aテキストに戻る。このテキストは、紙面を節約するために、追い込んで書いてある。これに手を加えて文章研究用のテキストを作る。Aテキストの作業用コピーを1文ごとに切り離して、各文の文頭をそろえ、文間を3センチほどあけて、別紙に張りつける。文の上部に通し番号を打っておく。この作品では、末尾の文は、第23段落第2文で、通し番号では、第94文となる。これをBテキストとする。

VI. Bテキストの作業用コピーに、Vのセクションで作業した結果を記入する。各文の右側余白に、文内各語の出現順番号と作品内での総度数とを記入する。前者を左側、後者を右側に書く。こうしておくで、文中の各語が、作品の

第5図 C子キヌトの一部

1(次の通し番号) 2

第1段落

二階の 1-1 1 1 その 1-2 1 9
 線側の 1-1 1 2 枝に 1-2 2 4
 ガラス 1-1 1 1 たぐさ 1-2 1 2
 戸の 1-1 1 1 んか
 すぐ 1-1 1 1 糞虫が 1-2 1 17
 前に 1-1 1 1 ぶら下 1-2 1 2
 大きな 1-1 1 4 があって
 楓が 1-1 1 4 いる。 1-2 2 48
 空 1-1 1 2

第2段落

3
 去年の 2-1 1 1 いっつも 2-2 1 1
 夏じゆ 2-1 1 1 に 午ごち 2-2 1 1
 うは 2-1 1 11 なるど 2-2 1 13
 この 2-1 1 15 は 小枝の 2-2 1 1
 虫が 2-1 1 1 して 食欲 2-3 1 1
 盛んに 2-1 1 1 小枝の 2-2 1 2
 活動し 2-1 1 1 先の 2-2 1 2
 て 2-1 3 48 青葉を 2-2 1 2
 いた。 2-1 3 48
 たぐり 2-2 1 1
 奪せて 2-2 1 1
 は 2-2 1 1
 食って 2-2 1 1
 いた。 2-2 4 48
 満され 2-3 1 1
 なかった。

4

5

6

7

第3段落

紅葉が 2-4 1 2 とにか 2-5 1 1
 美しく 2-4 1 2 私 2-5 1 1
 なる 2-4 2 13 日々に 2-5 1 1
 ごろに 2-4 1 2 変わっ 2-5 1 1
 は 2-4 1 4 行く 2-5 1 5
 もう 2-4 1 1 葉の 2-5 1 2
 活動は 2-4 1 1 色彩に 2-5 1 1
 したま 2-4 2 25 注意を 2-5 1 1
 ったま 2-4 1 28 奪われ 2-5 1 1
 ある。 2-4 1 28
 2-4 1 28
 7
 紅葉が 3-1 2 2
 干から 3-1 1 1
 縮れて 3-1 1 1
 やがて 3-1 1 3
 散って 3-1 1 1
 しまう 3-1 2 6
 と 3-1 1 1
 標に 3-1 1 1
 なった 3-1 3 13
 こずえ 3-1 1 2
 に 3-1 1 2
 ぶら下 3-1 2 2
 があって 3-1 6 48
 いる 3-1 2 2
 多数の 3-1 3 17
 糞虫が 3-1 1 2
 急に 3-1 1 2
 目立っ 3-1 1 2
 て 3-1 1 14
 来た。

中では全体で何度使われており、そこが何度めの出現かということが一目でわかる。例えば、「二階の¹⁻¹ 1 1」とあるのは、第1段落第1文に属する「二階の」という文節の自立語「二階」は、この作品では、ここだけで1回使われていることを示す。同じく「縁側の¹⁻¹ 1 2」は、「縁側」という語が作品全体で2回使われており、ここが最初に使われた箇所であることを示す。このテキストをCテキストとする。第5図に示す。

Cテキストは、語彙調査を文章研究用に表示したものである。このテキストの特色は、文章の流れをそのままに示しながら、全体での各語の使用状況を示すことにあり、特に、文章を途中のどこで切っても、そこまでの語彙調査ができていくことになるのが便利な点である。左側の数字で1だけを拾ってあげれば、異なる語のリストができるから、文章をどこで切っても、そこまでの異なる語数と延べ語数との関係がわかるわけである。

Cテキストを使って、語、文、文章に関しいろいろな調査や研究をすることができると思うが、本稿は、そういう研究の結果を報告するのが目的ではなく、ゼロックスを使うと、個人作業で比較的簡単にこういうテキストが作れるということを述べるのが目的であるから、言うべきことは、ここで尽きた。

最後に、第2図に一部を示した五十音順語彙表の全部を掲げておく。

寺田寅彦『蓑虫と蜘蛛』五十音順語彙表

くあ>	あまりに2 17-3, 19-2	ある 14 も一た。5-2, (がある) の-7-6
間 6 に8-2, に9-2 に17-5, に19-7 に20-2, に20-3	あらかた1 10-1	も一た。8-3, イタツ一た。10-2 が一た。11-1, も 一た11-2, も一 て11-3, に-13 -2, に一た。13- 3, が-14-2, も一。17-1, も 一。17-6, が一 19-4, が一た。 19-5
青葉 2 を2-2, の17-1	あらゆる2 6-2, 21-4	ある 7 もの9-1, もの (或) 9-2
赤み 1 が6-2	蟻 1 で21-1	もの19-5, 蜘蛛 20-1, 蛾20-1, 蜂20-1, 学者 21-1
明るい 1 3-2	ある 28 。2-4, た。4-1	あるいは1 12-5
空きがら1 を12-6	(である) た。7-2, た。7-3 。7-4, 。7-6, た 。7-7, た。8-2 。8-4, たが, 9-4 が11-2, ので12 -3, た12-4, が 14-4 た。14-4, う。16-3, 。17- 2, 。18-2, た。 19-1, た。19-2 。19-3, 。19-7, 20-1, 。20-2, 。 21-1, 。21-2	歩く 2 た。10-1, て11-3
空罐 2 へ9-4, 10-3	ても21-4, 。22- 3	
空巢 1 の15-1		
あさはか1 な19-2		
あさる 1 って10-1		
足 2 を12-5, は17-2		
頭 2 の12-6, に15-1		
孔 1 が14-2		
あの 3 7-3, 15-3, 15-4		
あまり 1 →ない7-10		

あわただ1 14-3
しく

案内 1 に8-2

安楽 1 な17-1

<い>

いい 1 ような21-4

いう 7 7-6, ので7-7,
たような15-6,
19-5, 19-5, の
で19-7, 21-2

家 1 は17-3

意外 1 な15-1

遺骸 1 の15-2

いかなる1 4-1

生きる 1 て5-1

行く 5 2-5, た。8-1
た。12-2, 14-3
。19-6

幾パーセント 1 には, 22-2

いずれ 1 に(しても)21-4

依然 1 と18-2

急ぐ 1 で15-2

至る 1 て21-4

一 1 (十分の)18-1

一局部 1 に19-5

一段落 1 に22-3

一人前 1 の19-7

いちばん1 21-2

一分だめ1 に17-6
し

一枚 1 3-2

一ミリ 1 か14-2

いつ 1 と(なしに)6-2

いつも 1 2-2

一滴 1 の16-3

いっぱい2 に1-1, に10-3

一匹 2 14-3, の18-2

一ぺん 1 10-4

一方 2 では20-1, は21
-1

糸 1 で4-1

今 3 まで6-2, 7-7
に19-2

妹 1 の9-5

いやがる1 て9-4

入り込む1 で13-2

いる 48 。1-1, 。1-2 た
。2-1, た。2-2,
た。2-5, 3-1,
た。3-3, ように
4-1, ので4-1, か
かも5-1, か5-
1, のを5-1, よ
うな5-2, た6-2
6-4, た9-3, た
。9-4, た。9-5,
のも11-2, のも
11-3, た11-3,
かを12-1, て12
-4, た。12-4, か
12-5, ように12
-5, た。12-5,
た。12-6, た。13
-1, のかと13-24
14-1, のか14-1
のに14-1, と14
-2, た。15-2,
なかった。15-3
た。15-4, 17-1
。18-1, ので19-
1, 19-7, と19-
7, 20-1, 。20-1
ので20-2, 20-3
たに22-2, 。23-
2

いろいろ1 3-2

<う>

上 4 に9-5, に10-4
に12-6, を22-1

浮き出す1 て3-2

動かす 2 て12-5, ないで
12-6

薄い 1 14-4

埋める 1 て22-1

うち 3 に6-4, に14-1
に14-3

美しい 2 く2-4, 20-2

奪う 1 れて2-5

うまい 2 く8-2, く11-3

生みつけ1 て19-6

生 1

上すべり1 を12-3

<え>

柄 1 とを7-10

枝 4 を1-1, に1-2
を8-4, を9-1

枝切れ 1 は11-2

えにしだ1 の11-3

選ぶ 1 で12-1

円滑 1 な7-10

縁側 2 の1-1, から4-2

<お>

旺盛 1 な2-3

多い 1 くの14-1

狼 1 の17-1

大きい 2 のや3-2, く11-
2

大きな 4 1-1, のを12-1
12-4, 12-4

奥 1 に22-1

おく 3 て-6-4, て一
て8-2, て一て
19-7

置く 1 て12-6

行なう 5 て13-2, れる17
-5, れて19-1,
れて20-2, れる
と21-4

起こる 2 て12-5, て19-7

おそらく1 17-5

恐ろしい3 13-3, 15-1, 16
-1

落ちる 3 そうも4-2, て9
-1, て9-3

おっつけ1 て12-6
る

同じ 2 ような21-4, で
21-4

おのずか2 11-3, 19-1
ら

帯びる 1 て6-3

思いがけ1 14-3
なく

思う 8 たが7-1, なか
ったろう7-8,
た。12-1, て14-
3, と16-3, た
のは19-2, れて

19-3, れない。
23-1

おもしろ1 て9-3
がる

親 1 の19-7
折る 1 (中止)7-4
お留守 1 に14-1

<か>

蛾 1 の20-1
外殻 2 の5-1, には11-1
外廓 1 の16-1
蚕 1 に13-2
外皮 2 の18-2, に21-1
楓 4 が1-1, の6-3, のは10-1, の19-2

かえって1 9-5
輝き始め1 た6-3
る

限り 1 に17-1
限る 1 て14-2
かく 1 て(輪を)7-3
佳肴 1 を19-7
滓 1 のように15-2
風 1 に3-3
数える 1 て10-2
片 1 を11-2
肩 1 に3-2
かたい 4 固く9-2, 堅い15-4, かたい21-1, かたい21-2

形 3 で7-9, を15-4を20-1

格好 2 を3-2, にも15-5

褐色 2 に12-4, の15-4
活動 1 は2-4
活動する1 て2-1
かなり 3 に8-3, 12-4, 14-1
ガーネット1 のような6-3
ト
下半 1 が13-1

兜 1 の15-5
壁 1 が16-3
かわい1 4-1
ガラス戸1 の1-1
からだ 7 の2-3, に12-5を12-6, の13-1を17-3, は18-1に19-7

枯れ枝 1 の11-2
枯れ葉 1 を3-2
彼ら 1 の2-3
かわいら1 14-4
しい
変わる 1 て2-5
かわるが1 9-4
わる

考え 1 が15-1
考える 2 て6-4, て21-4
感じる 2 て6-4, ような17-1

<き>

木 1 のも10-1
気 4 の5-2, が14-1も15-6, が21-4

消える 1 て18-1
機巧 1 を19-3
記事 1 が19-5
傷つける3 ばかりで7-4, ないで8-4, ないように12-2

期待 1 を23-2
キチン質1 を21-1
きつと 1 22-2
急に 2 3-1, 12-5
窮屈 1 な17-3
強靱 1 で12-3
興味 1 と23-2
強烈 1 な12-5
去年 1 の2-1
切り損ず1 て12-3
る
切り開く2 (中止), 12-1,

て15-2
切り破る1 て14-3
切る 1 て12-2

<<>

ぐあい 1 に21-4
食い込む2 せて8-2, で9-2
食いつく1 て20-1
食い尽く1 れるだろうと19-2
す
食い破る1 17-1
食 1 て2-2
空中 1 に7-3
駆除する2 て6-4, なければ19-2

くず 2 と15-6, と18-2
口 1 に8-2
吻 1 を17-3
朽ち残る1 た15-6
口ばし 2 は12-4, だけは15-4

苦痛 1 を17-6
苦惱 1 に17-4
蜘蛛 13 が14-3, の18-118-2, が19-1, にも19-4, を19-5, の19-5, の19-6, が20-1, の20-1, の21-4, が22-2, の22-3

暮らす 1 て5-1
暗やみ 1 から12-5
来る 14 た。3-1, た。5-1た。6-2, て, 6-3た。6-4, て, 7-1て7-5, た。9-1のを9-3, て14-3, たので19-3, て, 21-4, たかを21-4, 。21-4

くれる 1 た19-7
黒い 1 <3-7
苦勞 1 の21-1

<け>
結局 2 10-2, 22-1
決して 1 4-1

<こ>
子 1 が9-4
こら 1 22-3
攻撃する 1 て19-5
窟穴 1 の15-6
光沢 1 を6-3
紅葉 2 が2-4, が3-1
小枝 5 の2-2, を2-3,
を3-2, の6-3,
を7-4
木枯し 1 にも4-1
国際連盟 1 の20-3
小蜘蛛 1 で14-4
試み 1 に7-7
こずえ 2 に3-1, には6-2
個性 1 が11-1
木立ち 1 の20-2
滑稽 1 な11-3
事 9 では4-2, を6-4
も8-3, が8-4
を14-2, を17-3
すら17-6, も19
-4 で21-2
ことごと 1 15-3
く
ことし 1 の23-2
子供ら 1 は9-3
この 11 2-1, 5-1 5-2,
6-4, 13-2 15-
1, 16-1 19-1,
19-4 21-3, 23
-1
このよう 1 20-2
な
困る 1 たが22-1
これ 6 が7-8, が11-3
を17-2, は17-5
を19-5, だけは
23-1
ころ 1 には2-4
ころす 1 れる17-6

昆虫 3 の19-5, に21-1
の21-4
今度 2 は7-5, 19-7
<さ>
最後 2 の17-4, の21-4
最中 1 に, 17-1
幸い 1 に8-4
竿 5 の7-5, の7-9,
の8-1, は8-3,
の12-2
盛ん 1 に2-1
捜しあて 1 て16-2
る
先 8 の2-2, などで
4-2
(6-3→さ の6-3, に7-5
き) を7-9, に7-9
を8-1, の12-2
さげる 1 たのや, 3-2
刺し通す 1 て19-5
差し引き 1 た18-3
する
さす 1 赤みが~て6-2
定めて 1 8-1
殺戮 1 の17-5
さまざま 1 の3-2
さます 1 と19-7
さめきる 1 ないように12-5
さや 1 を11-3
残酷 1 な17-5
<し>
しかし 6 3-1, 7-2, 9-2,
13-3, 21-4, 23
-1
色彩 1 に2-5
紫黒色 1 の12-4
四十九個 2 10-2, の22-1
自然 3 の13-2, の19-1
の19-3
下 1 から8-2
しっかり 1 4-1
じっと 1 して12-6

死ぬ 1 で5-1
忍び足で 1 16-1
しばしば 1 12-3
地蜂 1 の19-5
芝生 2 の10-4, の12-6
しばらく 1 2-5
縛り合わ 1 のは7-10
せる
縛りつけ 2 た。7-5, た。7-9
る
渋紙 1 のような11-2
自尊心 1 で19-2
自分 3 は5-1, は7-7
の17-3
自分自身 1 の5-2
しまう 6 までは2-3, と3
-1, た。9-2, た
のが12-6, て18
-1, た。22-1
始末 1 に22-1
占める 1 て14-1
弱点 1 を16-2
しゃぶる 1 て20-1
ジャム 2 の9-4, の10-3
舍利 1 に13-1
十幾種 1 の7-7
十幾とお 1 の7-6
り
十分 1 の-18-1
充分 1 19-7
順番 1 で9-4
状態 1 において17-6
食欲 1 は, 2-3
シヨベル 1 で9-4
書物 1 を19-5
汁気 2 という15-3, は
15-3
進化 1 の21-1
進歩する 2 た21-1, て21-4
<す>
吸い尽す 1 れ15-3
数年前 1 に7-6

据え膳 1 を19-7
 すぐ 1 1-1
 すくう 1 ては9-4
 少なから 1 23-2
 ざる
 少しずつ 1 12-2
 鈴成り 1 に5-1
 すみ 1 の22-1
 すむ 1 そうに23-1
 する 25 て2-3, なか
 ったよう2-4, た
 のが3-2, たが
 4-2, 5-2, て6-
 2, て6-3, た。7
 -1, と7-4, よ
 うと7-7, た。9-
 3, て11-2, た
 12-3, た14-4,
 た。15-6, と17-
 3, 17-3, て18-
 2, と19-1, 19-
 4, て19-7, た
 20-1, て21-4,
 ても21-4, て22
 -3
 鋭い 1 16-2

<せ>

正確 1 に19-5
 生活 2 が5-2, と19-5
 制裁 1 を13-2
 生長する 1 -19-7
 生物 1 の17-5
 生命 1 で18-2
 西洋鉄 1 で7-6
 世界 3 にも13-2, が20
 -2, に21-4
 説 2 に21-2, が21-3
 背骨 1 が21-2
 繊維 1 は12-3
 戦衣 1 の15-6
 先祖 2 が21-4, と21-4
 先端 1 も6-3
 占有者 を15-1

<そ>

相違ない 4 。16-1, 。17-5
 。19-4, 。22-2
 想像 1 も12-5
 想像する 2 れた。11-3, れ
 た。13-2
 相当 1 の19-4
 底 2 に15-2, に15-6
 そこ 2 が16-2, に19-1
 そこら 1 の14-2
 そして 5 5-2, 8-2, 16-2
 17-6, 18-2
 そっと 1 8-2
 外 1 から14-1
 備える 1 た21-1
 その 9 1-2, 7-7, 14-3
 18-1, 19-5, 21
 -1, 21-2, 22-1
 22-2
 その日そ 1 の3-3
 の日
 そのまま 2 の15-4, に19-3
 そのよう 1 なの14-2

空 2 1-1, に3-2
 それ 11 が3-3, が6-3
 が6-4, までに6
 -4, は7-6, を
 10-4, は12-5,
 を12-6, は13-1
 は14-4, は15-5
 それきり 1 12-6
 それぞれ 1 の11-1
 それで 1 15-2
 それでも 1 8-3
 存在 1 などは2-5
 そんな 1 4-2

<た>

他 3 の10-1, の20-1
 の21-2
 対する 1 て3-2
 大小 1 10-2
 大多数 1 で11-2
 たくさん 2 な1-2, の14-1
 たぐり寄 1 ては2-2
 せる

竹 1 の7-10
 出す 1 て7-5
 多数 2 の2-3, の3-1
 ただ 3 15-3, 15-4, 19
 3
 たたき落 1 7-1
 とす
 達する 1 た22-3
 縦 1 に15-2
 頼む 1 16-1
 たび 1 に7-3
 たぶん 1 7-1
 卵 2 を19-6, から19
 -7
 魂 1 が21-4
 だめ 3 に7-8, に8-3,
 には17-2
 だめ 1 だろうとは7-1
 足りる 1 ない18-1
 単純 1 な19-7

<ち>

小さい 5 のや3-2, 9-5,
 14-2, 14-3, 18
 -2
 小さな 3 7-5, 9-4, 18-1
 近い 1 8-2
 力 1 が12-6
 ちぎれる 1 ので8-2
 縮れる 1 て3-1
 注意 1 を2-5
 注意する 1 ながら12-2
 中空 1 で14-1
 注射する 1 れる16-3
 中心 1 に21-2
 調節 1 が19-1
 ちょうど 2 6-3, 10-3
 直径 1 14-2
 ちらり 1 と14-4
 散る 1 て3-1

<つ>
杖 1 のように3-2
使い方 2 の7-6, を7-7
使う 2 れようとは7-8, うと17-3
突き上げ1 と8-2
つく 2 想像も一ないが,12-5 気が一た。14-1
つくづく1 21-4
つける 2 手を一のを9-4 枝切れは一ないで,11-2
伝わる 1 て21-4
土色 1 を6-2
包む 1 れて17-1
つなぎ合1 て11-3
わせる
つまむ 2 で9-5, で14-1
つまり 1 21-4
強い 1 8-3
つるす 1 れて4-1

<て>
手 1 を9-4
抵抗 1 の8-3
敵 3 は13-3, は,16-1, が19-4
できる 3 たので8-4, ない19-4, て,21-2
照らす 1 れて12-5
出る 1 て19-7
電光 1 のように15-1

<と>
どう 3 12-1, 18-3, 19-4
同時 1 に9-1
闘争 1 の21-4
闘争殺戮1 の20-2
動物界 1 が21-1
時 4 も5-2, の6-4,

の11-3, に,19-5
毒液 1 が16-3
毒牙 1 を16-2
毒針 1 を19-5
どこか 1 へ14-3
所 3 を8-2, に12-6 には19-1
ところ 1 の20-1
年上 1 の9-4
途中 1 で21-1
突然 1 17-1
とどめる1 て15-4
とにかく1 2-5
飛び出す1 て14-3
取り出す1 た12-4
取りつく1 て4-1
取り尽す1 ,10-1
取り交ぜて10-2
取る 2 7-8, ので9-4
どれだけ1 21-3
どんな 2 12-5, 21-4
食欲 1 そうな12-4

<な>
ない 4 た。4-2, た。7-10, のか,12-6, 。17-4
中 5 には11-2, から14-3, でも,17-5, に18-1, の22-2
長い 4 3-2, のを7-1, 11-2, 12-5
なかなか2 4-2, 12-3
半ば 1 7-9
ながめる1 て5-1
なかんず1 12-1
く
なし 1 に6-2
夏 2 の17-1, を23-2
夏じゅう1 は2-1
なめ尽す1 れて,15-3

並べる 3 て9-5, て10-4 たのが11-2
なる 13 と2-2, 2-4, た3-1, て5-1, 6-4, た。10-3, て12-1, て13-1, て14-1, た15-2 たか18-3, も19-7, 21-1
難攻不落1 と16-1
なんだか3 5-2, 12-5, 15-5

<に>
二階 1 の1-1
逃げ去る1 た。14-3
ニッケル1 の7-10
めっき
日光 1 に12-5
鈍い 1 12-3
似る 1 て5-2
庭 4 の10-1, の10-4 の20-2, での22-3
人間 6 には12-5, ならば17-1, の19-2 が20-3, だと21-2, に21-4

<ね>
眠り 1 が12-5
眠る 1 て19-7
ねらい 1 を8-1

<の>
残り 1 の18-3
残る 3 て15-2, て15-3 た18-2
のそのそ1 11-3

<は>
葉 2 の2-5, は19-2
刃 2 の8-2, は12-3
灰色 2 や6-2, の15-6
灰殻 1 のような15-3

はい歩く1 に16-1
 はい込む1 だけの12-6
 はい出す1 と、2-2
 はいる 1 て22-2
 はおる 1 たが3-2
 はう 1 て11-3
 箱 1 の9-5
 はさまる1 たのを9-3
 鉄 11 を7-5、の7-8、
 の7-9、の7-10
 の8-2、を9-1、
 の9-2、に9-3、
 を12-2、の12-3
 で14-3
 始め 1 から9-3
 はずす 2 たり9-3、て12-
 2
 パーセン1 を14-1
 ト
 肌 3 と、7-10、を11-
 2、が12-4
 裸 1 に3-1
 はたして1 15-2
 働せ始め1 .16-2
 る
 蜂 4 は19-6、に19-7
 の20-1、や21-1
 鉢 1 のような15-5
 はち切れ1 そうに12-4
 る
 発見する1 た14-2
 八対 1 の12-5
 発展する1 たのが21-2
 発明者 1 も、7-8
 鼻 1 の6-3
 花園 1 や20-2
 花畑 1 の22-1
 離れる 2 と9-1、て9-1
 はね落す2 うと4-2、うと
 7-1
 はねる 1 7-3
 腹 2 の18-1、を20-1
 払いのけ1 17-2
 る
 春 2 が6-1、の12-5

繁殖する2 ようと19-1、て、
19-1

<ひ>

干からび1 (中止)3-1
 する
 光る 1 て12-4
 干すばる1 て13-1
 肥大 2 な15-1、な18-1
 必要 1 を6-4
 一つ 5 と10-3、を14-3
 の15-1、に17-5
 の19-6
 一つ一つ 6-3、の11-1
 一つまみ1 の15-3
 日々 1 に2-5
 病菌 1 が13-2
 表現する1 17-6
 開く 3 た7-9、だ8-2、
 て13-1
 ひらめく1 た。15-1
 午ごろ 1 に2-2
 拾う 1、9-3
 広げる 1 て1-1

<ふ>

深い 1 (中止)22-1
 武器 1 と17-3
 吹き落す1 れないほど4-1
 吹く 1 れて3-3
 複雑 1 な19-7
 ふくらみ1 を6-3
 袋 12 は7-3、の8-2
 だけを8-4、を
 12-1、の12-2、
 の12-3、の12-5
 を14-1、の14-2
 の14-3、を15-2
 の15-2
 二派 1 に21-1
 二人 1 の9-4
 ぶちまけ1 て10-4
 る
 物質 1 は18-3
 筆入れ 2 の9-5、は10-3

肥る 1 て12-4
 冬じゅう1 5-1
 ぶら下が2 て1-2、て3-1
 する
 ぶらぶら 1 8-1
 する
 古巣 1 の12-6
 プロペラ1 のように7-3
 -
 分派 1 は21-2
 <へ>
 平気 1 で9-5
 壁上 1 を16-1
 変化 2 が12-5、が19-7
 変 1 だと14-3
 片々 1 が15-2

<ほ>

ほう 4 へ8-1、は9-4、
 は9-5、が19-3
 傍観する1 た19-3
 箒 1 の4-2
 飽食する1 て19-7
 紡錘形 1 の7-3
 紡錘体 1 の22-1
 坊主 1 に2-3
 放置する1 て19-3
 ぼうっと1 6-2
 ほうり込1 で9-4
 む
 ほか 2 の7-7、に13-3
 細長い 1 8-3
 ほど 1 の11-2
 ほとんど1 11-2
 揃る 1 て22-1
 ほんとう1 だか21-3

<ま>

前 1 に1-1
 曲がる 1 8-3
 曲げる 1 17-3

また 3 9-2, 19-4, 21-2
 まだ 2 12-5, 13-3
 待ち受け1 て23-2
 る
 全く 2 17-2, 17-6
 麻痺する2 けると19-5, た19-6
 豆 1 の11-3

<み>

見える 2 た。3-2, が, 4-1
 満たす 1 れなかった。2-3
 糞虫 17 が1-2, の2-5
 が3-1, を6-4,
 を7-8, の13-3
 の15-2, の16-1
 の16-3, の17-2
 が19-1, を19-2
 には19-4, の20
 -1, のような20
 -1, や21-4, と
 22-3
 見る 11 て9-3, たいと
 12-1, と, 13-1,
 て14-1, て14-2
 ただで14-4
 た15-1, と, 15-
 2, れた15-5, な
 がら, 17-1, て
 20-3
 みる 3 たら, 10-2, た。
 10-4, と21-4

<む>

無効 1 で7-2
 むさぼり1 うて19-7
 食う
 虫 15 が2-1, の5-1,
 のに5-2, の8-1
 の8-2, に9-4,
 の11-1, が12-1
 を12-2, は12-4
 の12-5, の13-2
 の14-1, の15-3
 の18-1
 むしり取1 8-4
 る
 むしろ 1 19-3
 無抵抗 1 な17-6

胸 2 の19-5, に20-1
 無能 1 で17-2
 紫色 1 と14-4

<め>

目 1 を19-7
 目立つ 2 て3-1, 11-2

<も>

もう 4 2-4, 12-6 16-
 3, 19-7
 もう少し 1 19-3
 もう一つ 2 の7-7, のを13-
 1
 もがく 1 だけの17-4
 持つ 2 て7-1, て8-1
 もつ 1 て23-2
 最も 2 17-5, 21-1
 もと 1 の12-6
 もの 9 は9-1, は9-2,
 で12-4, しか15
 -3, で17-1, ,
 17-5, は18-2の
 が19-5, が21-1

ものうげ1 に12-5
 物干し竿1 の7-1
 もはや 1 12-6

<や>

やがて 3 3-1, 6-4, 16-3
 やって来1 た。6-1
 る
 やっと 1 12-4
 やっぱり1 7-2
 やはり 2 11-1, 13-2
 破れる 1 たと16-3
 やる 1 ても, 12-6

<ゆ>

唯一 の17-3
 有脊推動1 を21-4
 物
 指 1 で9-5

弓状 1 に8-3
 夢 2 でも17-1, を20
 -3
 ゆらぐ 1 で3-3
 許す 2 ない。17-3, れ
 ないで17-6

<よ>

よい 3 (く)5-2, (く)
 14-2 たように
 19-3
 酔う 1 てでも12-5
 容易 1 では7-10
 様子 1 が11-3
 幼虫 4 は19-7, の19-7
 で20-1, が, 20-
 1
 横腹 1 に14-2
 読む 1 だ19-5
 よもや 1 7-8
 余裕 1 さえも17-4
 よる 1 と, 21-1

<ら>

来年 1 の17-1
 落葉樹 1 の6-2

<り>

流行する1 た7-6
 両端 1 から12-2

<れ>

例 1 の6-3
 歴史 2 は22-3, は23-1

<わ>

輪 1 を7-3
 若葉 1 に6-4
 若芽 1 を7-4
 わかる 3 ない5-1, ない。
 18-3, ない。21-
 3
 分かれる1, 21-1

わき腹	3	に16-3, を17-1 に19-6	私	7	は2-5, は6-4, の15-1, が19-2 には21-3, の22 -3, は23-2	悪い	1 (く)7-4
わけ	1	で22-3				われわれ1	の21-4
わずか	2	な16-2, な18-2	わりに	2	2-3, 11-2		
忘れる	2	て2-5, て12-6					